

令和3年度琉球大学法科大学院
C日程 未修者コース 入試問題
記述式試験

令和3年2月7日（日曜日）
10時00分～10時45分（45分）

注意事項

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いのないように受験してください。

- 1 この試験では、問題冊子1部、解答用紙1枚、下書用紙2枚を配布します。試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 試験開始後、問題の部分に印刷不鮮明、汚損等があれば直ちに申し出てください。
- 3 解答は、必ず解答用紙に記入して下さい。解答に用いたすべての解答用紙の所定欄に、受験番号、氏名を記入してください。
- 4 黒色または青色であれば筆記用具は問いません。ただし、鉛筆書きの場合は文字が薄くならないように十分注意してください。
- 5 試験開始後は、途中退席できません。用便を希望する際は手をあげてください。
- 6 試験終了後、解答用紙を回収するので、指示があるまで席を立たないでください。

配布した解答用紙は、書き損じや未使用のものも含めて、すべて回収します。問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。

- 7 その他は、すべて監督者の指示に従ってください。

〔問題〕

R大学では、学生が所属するゼミ毎に大学祭で出し物を行うこととなっている。R大学のあるゼミの学生30人は、ゼミ長の学生が中心となって、出し物の題材を何にするか、ゼミ前会議で協議した。ゼミ長が他の学生から提案を求めたところ、「クイズ選手権」、「マジックショー」、「ラップダンス」の3つの案が出された。ゼミ長が「他に案が出ないので、この3つの中から多数決で決めます。いいと思ったものにみなさん挙手してください。」と言いました。学生Aは迷った結果、どれにも挙手しなかった。A以外にもどれにも挙手しなかった学生が多くいた。ゼミ長は、それぞれの案につき挙手した人数を正確に数えた上で、その人数を次のとおり発表した。

- ・クイズ選手権 4人
- ・マジックショー 2人
- ・ラップダンス 1人

ゼミ長は、「多数決の結果、クイズ選手権という意見が最も多かったので、このクラスの出し物はクイズ選手権に決まりました。」と言いました。これを聞いたAは、「この決まり方はおかしい。」と感じました。これに関連して、次の設問に答えなさい。

〔設問1〕学生の意見を聞き、多数決をとって決めたにも関わらず、Aが「おかしい」と感じた理由を説明しなさい（10点）。

〔設問2〕Aが「おかしい」と感じなくて済むようにするために、Aはゼミ前会議でどのような行動をとるべきだったのかについて論じなさい（35点）。

【採点基準】

〔設問1〕

1. 学生間での多数決の決定が信頼されるのは、多数決を行う学生の主体的な参加が前提条件となることの指摘（5点）
2. Aの感じたおかしさは、ゼミの大学祭の出し物の決定にあたって上記の基本的な条件が実現できていないことにあると考えられることの指摘（5点）

〔設問2〕

1. Aがとるべき行動としては、ゼミのより多くのメンバーがこの多数決による決定に主体的に参加できるような手段を提案することであることの指摘（5点）
2. 1の手段として、既存の案についてより詳しい説明を求めることが考えられ、既存の案の趣旨がわかれば決定に参加するメンバーも増える可能性があることの指摘
3. 1の手段として、さらに新規の案を募ることにより、より多くのメンバーの主体的な参加につながる可能性があることの指摘
4. 1の手段として、過去の例・他校の例などより多くの情報を集めることにより、より多くのメンバーの主体的な参加につながる可能性があることの指摘
5. 1の手段として、他に説得力のある提案があれば適宜評価する。
（2～5については、提案の数や個々の提案の説得力を踏まえて30点満点で採点する。）